

---

# オタクとインチキ霊媒師の日々日常

山形琉斗

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

オタクとインチキ霊媒師の日々日常

### 【Nコード】

N0529BA

### 【作者名】

山形琉斗

### 【あらすじ】

人生がつまらないと感じて刺激を求めて

暴走族に入る一歩手前で踏みとどまった刺激が欲しい少年山形龍斗  
彼を悪の道に誘った少女七瀬緋色と共に

何でも屋としての仕事は殺人、誘拐、暗殺、探偵  
そして能力者との戦い。

相手は死神、妖怪、超能力者、魔術師、再弱最強  
陰陽師、闇の支配者、世界皇帝、武士、軍人大国  
地縛神、殺人鬼、科学者、時の令嬢、ユキ人形

創造天樹、エルフの少年王、バンパイア、テロリスト  
とても幅広く

山形君は死ぬまで満足しましたとき。

## 死神登場（前書き）

人生で作文以外で初めて書いた文章なので  
つまなくても怒らないで下さいね。

なるべく中2的文章を心がけて

いきたいのですが守れそうに

ありません

初めてなので感想いっぱい欲しいです

励みしたいです

それじゃああんまりつまなくても怒らないで見て下さい。

## 死神登場

つまらないなあ、 嗚呼つまらない

現在高校二年生の俺山形龍斗は本当につまらなそうにつぶやいた  
もちろん授業中なので心の中で

多分こんなにつまらないのは授業のせいだけではないな  
なんといつても人生そのものがつまらない

まあなんだ、俺はそこまで不幸って訳じゃあ無いと思う  
成績は火の車、主に赤点的な意味で 容姿は上の下でも

彼女が出来た事が無い時点でそれはあまり意味がないと思う  
そして17年生きてきたなかで一番インパクトがあった事は

小学校の頃に一番の大親友の転校という平凡ぶり、 嗚呼もう本当  
につまらない

ここまで来ると逆に珍しいよ！平凡じゃあないよ！

このままじゃあ退屈過ぎて死にそうだから（嗚呼でもその前に  
次の期末で赤点的な意味で高校生としては死にそうだから悪い意味  
で刺激的た）親に迷惑をかけるのを承知で刺激を求めて暴走族に入  
ろうと考えながら

現代文のおばさん教師がなんか意味のわからない単語をつぶやいて  
いる

のをBGMに俺は机に突っ伏しめを閉じる

幸せそうな山形君の爆睡を注意する幸せそうでは無い現代文教師

そして体育の授業で通りかかった学年1の美少女が山形君の教室の  
前で止まる

。教室を見渡し山形を見つけ少し寝ている山形に笑いかけると去  
っていった。学年1の美少女の到来に歓喜の声こそ上げないものの  
明らかにそれと分かる男子達。それを見て山形と同じクラスの学年  
2位の美少女、

それなりに大きい会社の社長令嬢でもある彼女はそんな学年1の少

女を

睨んだ。

そしたら去っていったと思っていた少女は振り返って笑う。  
普通的笑顔とは違う笑いを顔に張り付ける少女。

そして眠る山形。

彼の求めるものはすぐに来る。学年1の美少女七瀬緋色の  
笑顔とともに、寝ている山形はまだ知らない。

3時間目の現代文の授業が終わってもまだ机に突っ伏していた

山形の頭に衝撃が走る（物理的な）

たいして長くもない髪を撫でながら机から顔を上げる。

そして声も上げる。

「痛てえなあ、誰あ、、アレ？」

山形の視界に美しい物がある。

肩より僅かに長い黒髪。そこから香る甘いもの

女の子の香りを感じる程接近している事に驚き思わず下を

向く。すると同年代と比べると大きめな胸が目に入る。胸を

見られている事に気づいた少女は嫌な顔一つせずに山形が注目

している胸元をそこを見ているただ一人にだけ見せるように強調

してみせる。

しばらくすると気まづくなった山形は顔を上に上げ

しばらく上空を視線がさまよったあと美しい物と目が合う。

七瀬緋色、調和のとれた美しい微笑み。

その笑顔に込められた意味にまで

鼻の下を伸ばし続け地に付いている山形には

気づける訳がなかった。

全く喋ることが出来ない山形。

その山形と視線が合った事で満足げな表情になった

緋色は楽しげに口をひらく

「やっと目が合いましたね。」

「、、、?」

相変わらずなにも喋べろうとしない山形。

それとは対照的に勿体つけた様子で二の句を継ぐ緋色

「ねえ、山形君、私と付き合って下さい!」

走る衝撃。教室中がざわめきお調子者が数人別のクラスにかけていく。

「え、あつ、うつ、、、それってどういう意味?」

山形君やつと復活。

冷静に思った事を口にしたつもりの山形は

内心ではかなり焦っていた

まあそりゃそうだ。今まで一度も女にもてた事が無い

可哀想な人生送って来た自分が告白されただけでも

驚きなのにその相手が男子ならたいいていの者が(もちろん自分も)好意

を持つている程の少女 七瀬緋色なのだからまあ当然。

「あなたが好きと言う意味ですよ」

その答えに

山形には嬉し過ぎるその答えに

山形は何も返す事が出来ずにいた。

「もし、その気があるなら昼休みのとき

屋上に弁当持って来て下さい。答えはそこで

聞くから今無理に言わないでください。

それじゃあ待ってますんで。」

初めから自分の問いに対する答えなど気にしていないかのように小走りで行っていった。

「あつ、」

去って行く背中に遅れて声をかける山形

彼女は振り返らない。

相変わらず最初から最後まで締まらない山形  
だが緋色が去つても2人に注がれていた視線は  
一切減らず友人が（もちろん男の、もちろん同じく全く  
女つ気のない）がからかう用に声をかけるが一切耳には入らない。  
山形の心はもう決まっていた。屋上に行く。  
そこで絶対に七瀬さんと弁当を食うんだと山形は固く  
誓った。（誰と???)告白の答えはもちろんYESだ！  
映画館デートするんだーとか、今年のクリスマスこそは  
1人にならないとか色々考えながら  
昼休みを目指して俺は眠りについた

山形は屋上に行く事に何の疑問も持つてはいなかった。  
結果山形は望む者を手に入れ短くも楽しい日々を  
過ごす事になるのだが決してその最後は幸せなものにならないのも  
事実。本人は幸せだからいいと思うが世界中を荒らし回り  
その最後が自分の愛した人に殺されたんじゃないじゃあとも  
幸せな最後とは言えないと思う。  
それに緋色も山形より僅かに長く生きたとはいえ  
2人とも成人まで生きられなかったんだから  
どこがいいんだか！  
まあ2人がいいって言うんだからどうでもいいか。  
「またあつたな、山形、緋色でも残念  
死んだ後だから私には裁けない。もうお前らと戦えない。  
でも楽しかったんだろ！  
あんな死に方してもさ  
生きてる時にさんざん楽しんだんだから  
ねえ  
そうでしょ?」

当然だろ！



2人のそんな声が聞こえた気がした。

幻聴を聞き流し身長の二倍程の巨大な鎌を

弄りながら高校のブレザー制服に黒いマントを

引っ掛けた奇妙な少女がいた。

少女は泣いていた。

そこが葬儀会場ならごく当たり前の光景だったろうが

彼女がいるのは葬式ではない。ましてはこの世ですらない

あの世の最高裁判所。その入り口三途の川で待っていた

いつまでもね

## 死神登場（後書き）

最後にちよつと出てきた死神っぽい人の

人物紹介

名前、死神

種族、人 聖人（絶対正義）

能力、能力名称は特になし

能力効果は罪みがある相手に

対して自身の鎌がオモくなる事。

針鏡を用いて相手の過去に犯した

罪を見る事ができる。

針鏡は自身の周囲に任意で展開し

自分以外は鏡を見る事は出来るが

過去に関しては見えない。

針鏡で見た過去に対して自分で

裁き。殺す力。裁きによって生じた

殺人による一切の罪負わず。

1つの悪事を行う事も許され

ない絶対正義の聖人の力を

下げる事はない。

彼女の断罪の力は相手の罪を

絶対に裁ける程の力に常に強化

されるので基本的に無敵。

そしてここからがこの能力の真価

罪が無い相手に対しては断罪を

発動させる事は出来ないが自分から

攻撃しない限り先制攻撃を受ければ

どんなに罪が無い相手でも攻撃した

時点で罪があるとみなされ断罪が

発動可能になるという。

自分から攻撃しない限り無敵。

相手から受けた罪がある攻撃は

無効にして跳ね返す事が可能。

生い立ち、 は長過ぎるからいいか

でっこんな奴にどうやって勝てと言っんだ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0529ba/>

---

オタクとインチキ霊媒師の日々日常

2012年1月1日01時46分発行